

県の同意(11月中旬)まで

非 公 開

令和3年11月2日
部長会議資料

長野市過疎地域持続的発展計画(案)に対する

市民意見等の募集結果及び計画(案)の決定について

地域・市民生活部地域活動支援課

令和3年 6～8月	庁内改訂作業
8月18日	部長会議(計画案及びパブリックコメント)
8月27日	計画案について県に事前協議
9月3～28日	市民意見等の募集(パブリックコメント)
9月10日	戸隠地区説明会
9月13日	鬼無里地区説明会
9月14日	中条地区説明会
9月24日	大岡地区説明会
9月28日	信州新町地区説明会
10月1日	市民意見、県事前協議等による計画案修正依頼
10月15日	県との再協議

1 市民意見等募集の概要

○実施趣旨

旧過疎地域の持続的発展に向け、実効性のある計画となるよう、広く市民の皆さんからご意見等を募集しました。

○募集期間 令和3年9月6日～9月28日(23日間)

○意見募集方法

➤ 計画(案)の公表による意見募集

- ・広報ながの(募集記事掲載)
- ・市ホームページ掲載(Eメール、ながの電子申請サービス)
- ・窓口における閲覧(地域活動支援課、行政資料コーナー、支所窓口)

➤ 旧過疎地域5地区住民自治協議会の会議における説明及び意見聴取

2 市民意見等の募集(パブリックコメント)の結果

○募集結果

- ・意見等件数： 24件
- ・意見提出者： 5人(個人、団体等)

寄せられた意見等の分野	件数
計画の趣旨、基本的な方向など全般的なことについて	3
分野別案件	17
計画に関係ない個別案件	4

3 ご意見等への対応方針及び件数

対応方針	意見等への対応	件数
1	計画案を修正・追加する	0
2	計画案に盛り込まれており、修正しない	11
3	修正はせず、今後の取り組みで検討又は参考とする	7
4	検討の結果、修正しない	2
5	その他(計画案と関係のない個別案件)	4

パブリックコメント等による個別のご意見、の考え方及び対応方針等の要旨

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
1	17	過疎地域から外れても、地域にとっては過疎から脱却したわけではない。この6年間の経過措置が終了した時点で、独自の過疎計画を立て、過疎対策事業を継続してもらいたい。	旧過疎地域であった5地区を含む、市が指定する中山間地域13地区に「やまざと振興計画」を策定し、過疎化対策など中山間地域の活性化を図っています。	2 計画案 盛込み 済み
2	18	地域おこし協力隊員の目標値 4名×5地区=20名	全地区に2名の隊員を置くことを目指し、目標値を設定しています。今後も、地区の課題解決に向けた導入要望等をお聞きしながら募集してまいります。	3 今後の 取組み で検討
3	18	実施された過疎債事業が大まかであり、実施事業が不明確に感じられる。実施された事業の見える化が必要である。	3年目の中間年、6年目の最終年に評価、検証を行い、事業の進捗状況など議会、住民自治協議会に報告するとしています。	2 計画案 盛込み 済み
4	21	大岡地区は、山村留学を修園した児童生徒、家族との交流をより深めるため、農作業体験などのグリーンツーリズムを積極的に進めたい。	その対策(地域間交流)の各地域に共通することとして、都市との交流、地域間交流を推進するとしています。また、その対策(農業)の大岡地区において、農業に関係した資源を活用し、農業体験など都市住民との交流を拡げるとしています。	2 計画案 盛込み 済み
5	28	大岡地区は、安心安全、美味しいといった付加価値の高い水稻や野菜を栽培する。	各地域では、気候や地形などの特長を活かして農作物が栽培されています。その対策(農業)において、各地域に共通することとして、付加価値の高い農作物の生産を促進するとしています。	2 計画案 盛込み 済み

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
6	29	脱炭素社会の実現に、木材の活用が積極的に進められることが見込まれる。企業だけではなく、一般家庭も行動するよう石油ストーブから薪ストーブへの転換に向けた市の施策が求められている。	本市は、脱炭素社会の実現に向けて、家庭用では、果樹剪定枝・薪ストーブ活用推進事業に取り組んでいます。 また、鬼無里地区の温泉施設では薪ボイラーを導入しています。引き続き木材の活用を積極的に進めてまいります。	2 計画案 盛込み 済み
7	29	大岡地区は、カラマツなどの間伐を推進し、間伐したところにヒノキ、イチイなどを植え、混合林としての新規造林を推進するべきと考える。	間伐後の新規造林は「森林の整備」に地域共通の取組事項として含まれており、推進してまいります。	2 計画案 盛込み 済み
8	32	聖山パノラマホテルに隣接するスキー場跡地が荒廃化している。元のブナ林に戻すため、カラマツの伐採、雑草を除去する必要がある。 ホテル宿泊者、来訪者、登山客の散策コースを整備し、ホテルへの集客、観光面の活性化を図るべき。	令和3年度に景観整備も含め、カラマツ等の伐採を計画しています。 スキー場跡地は聖山登山道を中心に除草作業を実施しています。	2 計画案 盛込み 済み
9	32	大岡特産センターは、農業生産者の出荷場所、観光客と地域を結ぶ拠点である。指定管理者に的確な指導を行い、集客、売上げ等の改善を図るべき。	国道19号を通過する車両が減少する中で、農産物等の出荷場所は確保しつつ、大岡特産センターの事業見直しを図り、指定管理者と経営改善に向けて検討しています。	3 今後の 取組み の参考
10	32	大岡地区の北アルプス展望道路にはツーリング、ドライブ客等も多いが、丸子信州新線等の幹線沿いは、背の高い支障木によって景観が悪化しており、支障木を伐採する必要がある。	幹線道路沿いは民有林が殆どであり、景観形成を目的に支障木伐採を計画することは困難です。	4 検討の 結果、 修正し ない

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
11	36	<p>公共施設にWi - fiフリースペースを設けることで、地域の活性化、移住施策にもつながるのでないか。(支所、公民館等)リモートワークが全国的に広がっている中で、戦略的に検討すべきである。コロナ禍で会議や講演会等はWebの使用が多いことなど、観光都市として積極的に設置しても良いと考える。</p>	<p>順次、情報化に向けた取り組みを検討してまいります。</p>	<p>3 今後の取り組みで検討</p>
12	36	<p>避難指示が増えており、大岡地区の防災無線戸別受信機を、アナログ受信機からデジタル無線機へ早期の切り替えを進めてもらいたい。</p>	<p>現在、アナログ方式の防災行政無線戸別受信機を全戸に配置しており、デジタル方式の防災行政無線戸別受信機については、区長、消防団員等に無償で貸与していることから、全戸に対しての切り替えは考えておりません。また、デジタル方式の防災行政無線戸別受信機については、希望する方に有償で購入いただける方法を検討しています。</p>	<p>2 計画案盛込み済み</p>
13	42	<p>生坂村雲根から大岡地区平集落を通り大町市の野平に抜ける国道19号バイパスが、計画から20年以上たっても平集落内は手つかずの状態なので、国へ働きかけが必要である。</p>	<p>平集落内については、事業実施に向け詳細な設計を進めるため、測量作業を実施中です。なお、国道19号バイパスについては、「一般国道19号(生坂・大町・長野間)整備促進期成同盟会」で要望事項に盛り込み、毎年要望活動を行っております。事業が早期完了するよう引き続き整備促進を働きかけてまいります。</p>	<p>2 計画案盛込み済み</p>
14	42	<p>年々高齢化が進む中で、市道の草刈り作業が重荷になってきているので、負担を軽減する機械を導入してほしい。</p>	<p>いただいたご意見については参考とし、今後、負担軽減につながる手法や機械の導入等を含め、検討してまいります。</p>	<p>3 今後の取り組みで検討</p>

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
15	42	<p>県道丸子信州新線は、大岡地区内の整備は概ね進みましたが、地区外に通じる信更及び信州新町地区、麻績村及び千曲市方面の整備が遅れており、関係市町村と連携して県に働きかけが必要である。</p>	<p>主要地方道丸子信州新線について、関係する麻績村、筑北村、青木村と連携し、引き続き未整備区間の早期整備を県へ要望してまいります。(青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会)</p>	<p>2 計画案盛込み済み</p>
16	59	<p>鬼無里小中学校は、学区外から児童・生徒を受け入れ、自然豊かな環境で伸び伸びと、一人一人に寄り添った教育を教職員一丸となって取り組んでおり、地域も様々な場面でボランティア支援している。</p> <p>学区外から通学を希望する児童・生徒の通学にかかる費用の負担を軽減し、通学を希望する児童・生徒が断念することがないような支援体制を考えるべき。</p>	<p>学区外から通学を希望する児童・生徒の通学については、平成30年度からの小規模特認校制度導入に当たって、地域の方で構成された「鬼無里地区学校づくり委員会」と市が協議する中で、「保護者の責任と負担において、概ね1時間以内で通学できること」を基本として開始したものであることにご理解をお願いします。</p>	<p>4 検討の結果、修正しない</p>
17	59	<p>少人数ならではの「イエナプラン」など、教育プログラム又は思い切ったITの導入、VRを使ったりリモート授業はどうか。特色を持たせた学校にすれば、それを魅力として移住につながる。</p>	<p>中山間地の学校では、複式指導や全校での合同授業など「イエナプラン」に通ずる異学年の児童・生徒の学びを実施しています。また、少人数という集団のメリットを生かし、個別最適な学びの実現に努めております。</p> <p>ICTについては、GIGAスクール構想による1人1台端末の利活用を進めているところです。</p> <p>少人数集団の課題である多様な他者との交流を実現するため、他校との遠隔授業等へのICT利用を引き続き行ってまいります。</p>	<p>2 計画案盛込み済み</p>

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
18	60	<p>大岡小中学校をこの地から無くさめよう、山村留学事業を導入したものである。地域づくりの重要な課題として、地域が一体となつての取り組みが必要である。</p> <p>小中学校の存続を図るためにも、山村留学事業の存続と、他地区への事業展開を目指し、また、定員を上限まで増やすべきと考える。</p>	<p>地元の児童・生徒数の減少により、都市部の児童・生徒との交流による教育効果の向上が得られにくい状況になっており、今後もその状態が続く見込みであることから、大岡地区住民自治協議会や受託事業者に対し、運営主体の見直しについての申し入れを行い、話し合いを進めています。</p> <p>他地区への事業展開については、他の中山間地域も同様に児童・生徒数の減少により、教育効果の向上が見込めないため、新たに実施することは困難です。</p> <p>定員については、里親農家の確保に苦慮している状況や、アフターコロナを見据えて施設の規模を考慮すると、現状の15名程度を継続することが適当であると考えております。</p>	<p>3</p> <p>今後の取り組みで検討</p>
19	60	<p>県や市が進めようとしている施策と連動させ、この地で生きていけるような「地域経済活性化につながる公民館講座」が必要である。</p>	<p>市立公民館・市交流センターでは、気軽に参加できる学習や学びのきっかけづくりとしてさまざまな講座を企画実施しています。本件のご意見は具体的な講座開催に係る提案であり、計画には反映せず、公民館講座を企画する際の貴重な意見として参考とさせていただきます。</p>	<p>3</p> <p>今後の取り組みの参考</p>
20	63	<p>やまざと支援交付金事業での支障木伐採について、高所作業車の導入や、高木が伐採できるよう予算を増やすべきと考える。</p>	<p>いただいたご意見については参考とし、今後、負担軽減につながる手法や機械の導入等を含め、検討してまいります。</p>	<p>3</p> <p>今後の取り組みの参考</p>

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
21		大岡地区の菜園付き住宅は、移住者が入居したいとの申し出から数カ月間も待たされるため、いつでも入居できるよう維持管理すべき。	希望する方に入居してもらえるよう必要な修繕をし、管理してまいります。	5 その他 (計画案と関係ない案件)
22		鬼無里中学校の旧校舎は、神城断層地震で被災して使用できなくなり、解体すると説明がされたと記憶しているが、今回の計画(案)の中には、全く触れられていない。どのようにお考えか。	神城断層地震で被災したことや耐震性が不足していたことから、生徒の安全を一番に考え、小学校敷地に中学校機能を移転しています。その後の学校施設の利活用について様々なご意見があり、地域の皆様に活用方法を検討いただいているところです。 現在は、建築年が新しい木造の旧特別教室棟を中心に、新たな活用方法を試行いただいております。	5 その他 (計画案と関係ない案件)
23		大岡小中学校の体育館の屋根の雨漏りで授業に支障がでている。体育館の屋根の修繕と小中学校の屋根の塗装が必要である。	今年度、足場を設置し、屋根や外壁の劣化状況を確認しました。この確認とあわせて部分的な補修を行いましたが、根本的な解決には屋根の葺き替えといった大規模な改修が必要な状態です。 市では、令和3年2月に策定した「長野市学校施設長寿命化計画」に基づき、建設年や建物の劣化状況等を総合的に判断し、老朽化が進む施設の長寿命化改修を計画的に進めてまいります。	5 その他 (計画案と関係ない案件)
24		大岡地区は、山菜、キノコ等の入山規制がなく、地域以外の人々が勝手に入ってくる。また、林地の荒廃による山菜、キノコ、山野草の減少、希少植物の盗掘による山野草の減少が著しい。	土地の所有者が連携するなど、入山を規制してはどうかと考えます。	5 その他 (計画案と関係ない案件)

No	頁	意見等の内容	理由	長野市の回答
		原文		修正案
1	29	記載なし	令和元年度から市町村に譲与が開始された森林環境譲与税と市町村が主体で実施する森林経営管理制度について記載をお願いします。	森林整備や人材育成・担い手確保、市産材の利用・販売促進、森林の公益的機能を啓発します。なお、これら事業の財源として、令和元年度から施行された森林環境譲与税を活用し、施策を推進します。また、既存制度では整備できず、今まで管理できていなかった森林については、森林経営管理制度の導入により適切な管理を図ります。
2	38	【信州新町地区】 また、国道19号は災害による通行止めが頻繁に発生しており、通行に支障が生じた場合は基幹となる県道等が迂回路とされるため、恒常的な整備、維持管理を行っていく必要があります。	幹線道路である国道19号そのものも災害時の通行確保が必須と考えるため。	また、国道19号は災害による通行止めが頻繁に発生しており、通行に支障が生じた場合は基幹となる県道等が迂回路とされるため、国道・県道ともに恒常的な整備、維持管理を行っていく必要があります。
3	42	【信州新町地区】 主要幹線である県道の改良整備や長野自動車道更埴インターへのアクセス道路の整備を関係機関に要望していきます。	他地区において、路線名が記載されており、統一を図った方がよいと考えるため。	主要地方道信濃信州新線、主要地方道丸子信州新線等の主要幹線の改良整備や、長野自動車道更埴インターチェンジへのアクセス道路の整備を関係機関に要望していきます。
4	21	記載なし	連携中枢都市圏に係る他市町村との連携施策がありましたら記載をお願いします。	この他、移住希望者の多様なニーズに応えるべく、長野地域連携中枢都市圏の市町村が協働で、長野地域で実現できるライフスタイルの情報発信を進めます。

◇今後の予定

11月2日(火)	部長会議(市民意見等の募集結果及び計画案の修正) ※過疎地域持続的発展計画案(決定)
11月4日(木)	県との正式協議
11月8日(月)	政策説明会
11月中旬	県の同意
12月2日	長野市議会12月定例会に議案提出
12月下旬	議決後は、県を通じて国へ提出